被災地を応援したい。

十勝の復興支援ギフトプロジェクト

「被災した新得・清水・芽室を応援するために、自分たちにも何かできないか」という考えに賛同した十勝管内の地域おこし協力隊員などが『十勝復興応援団』を結成し、「十勝の復興支援ギフトプロジェクト」を始動させ、被災した町を応援しようとしています。

『十勝復興支援応援団』のメンバーとして活動しているのが、新得町商工会で地域おこし協力隊の町づくり事業推進員として働く三輪昌宏さんです。メンバーは三輪さんのほか、大樹町の神宮司亜沙美さん、池田町の黒田和樹さん、清水町の新名龍之介さんと村上智哉さんらの現役の協力隊員と元更別村の協力隊員の亀井秀樹さんの6人で結成されています。

このプロジェクトは、神宮司さんが以前勤めていた「㈱地元カンパニー」が展開する「地元ギフト」という仕組みを活用し、3つの町の地域の産品を集めた「十勝の復興支援ギフト」のカタログを作るというものです。

カタログギフトは、本ではなくカード式で、一箱につき10～15枚程度の地元の品物カードが入っており、もらった人はこの中から好きな商品を一つ選んで、ハガキに書いて送ると自宅に商品が届く仕組みです。

商品づくりに関わる人の対談を裏面に載せていることが特徴で、選べる商品は1つですが、地域で頑張っている様々な人のストーリーを楽しむことができるカタログギフトです。売り上げの一部については災害支援金として各町に寄付するとのことです。

三輪さんは「現在、『新得町のギフト』を製作している段階で、10月に各会社や生産者に個別に出品依頼し、出品者やサポーター向けの説明会も開催しました。11月中旬には出品者が決定する予定」と話していました。

カタログギフトを製作する資金は、クラウドファンディング（インターネット上で不特定多数の人から寄付を集めること）で集めており、11月26日まで受け付けています。

カタログギフトを手にする神宮司さん、三輪さん（左から）

新得町の説明会の様子

事業所を訪問し、プロジェクトを説明

募集しています！

町をPRする動画の作成やインターネットでの町の宣伝などに協力いただけるサポーターを募集しています。

クラウドファンディングやサポーターとして協力いただける方は、新得町商工会のフェイスブック（www.facebook.com/YUMEnoarumachidukuri/）に詳細が記載されていますのでご覧いただくか、新得町地域おこし協力隊三輪昌宏さん（町商工会 64 － 5324）までお問い合わせください。

つながり

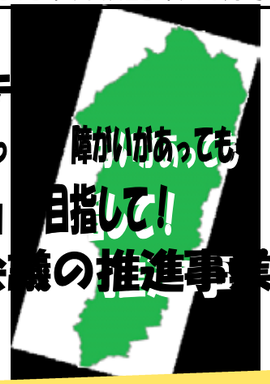
●発行元●
新得町地域包括
支援センターなごみ
保健福祉課在宅支援係
TEL 64－0533
FAX 64－0534

新得町版地域包括ケアシステ

長生きしても・一人になっても・認知症になっ　障がいがあっても

人生最後まで「新得町」目指して！

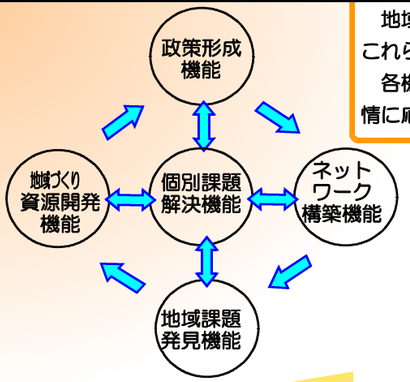
地域ケア会議の推進事業



なぜ「地域ケア会議」の推進が必要なのか？

新得町版地域包括ケアシステムの構築が急がれるため、高齢者個人等に対する支援の充実と、それを支える社会基盤（受け皿）の整備を効率的に進める必要があるからです！

地域ケア会議に求められる機能！



地域ケア会議は５つの機能を有します。
これらの機能は相互関係し合い、循環しています。
各機能が効果的に関連し合うよう、新得町の実情に応じ、各会議等を組み合わせることが必要です。

現在、地域包括支援センターが所管する既存会議等の機能（一部紹介）

個別課題解決・ネットワーク構築・地域課題発見機能を位置づけた「**ふれあい支援員**」を参集した会議

資源開発・政策形成機能を位置づけ、町内の医師、歯科医、薬剤師、ケアマネジャー等を参集した「**新得町地域ケア推進会議**」

地域課題発見・資源開発機能を位置づけた「**地域包括支援センター運営協議会**」

今後の課題

地域包括支援センターが所管し、各機能を位置づけた6つの会議等があります。その各会議が持つ機能を包括し、「個別課題」の把握から「資源開発」が、多くの合意形成のもと図られる環境整備が急務です。

また、今後、生活支援コーディネーターを中心とした「協議体」（話し合いの場）を設置します。

協議体では、今後の地域づくりを左右する、大きな役割を担って頂くことになります。